



松戸市との地方創生SDGsに関する包括連携協定について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2021年10月6日（水）、松戸市（市長 本郷谷 健次）と地方創生SDGsに関する包括連携協定を締結しました。

本協定は、地方創生SDGsの達成に向けて緊密な連携と協働による活動を推進し、地域社会の持続的な発展及び地域経済の活性化、市民サービスの向上を図ることを目的としています。

本協定の締結を機に、当行と松戸市は、地方創生SDGsの推進とその実現、キャッシュレス及びデジタル化の推進、脱炭素社会の実現、地域経済の持続的な発展、子育て支援及び女性活躍促進など幅広い分野で連携し、さまざまな取組みを進めてまいります。

当行は、地域社会のパートナーとしてグループを挙げて、松戸市における「SDGsを原動力とした地方創生」を積極的に推進し、地域経済の持続的成長に貢献してまいります。

記

【連携事項】

- (1) 地方創生SDGsの推進、実現に関すること
- (2) キャッシュレス、デジタル化の推進に関すること
- (3) 脱炭素社会の実現に関すること
- (4) 地域経済の持続的な発展に関すること
- (5) 子育て支援、女性活躍促進に関すること
- (6) (1)～(5)に掲げるもののほか、地方創生SDGsを達成するため必要な事項に関すること



左:松戸市 本郷谷市長 右:千葉銀行 山崎取締役専務執行役員

以上